

## 米国ワシントン州で腸炎ビブリオ食中毒が発生

2010年8月3日 ProMED 情報 (Washington State Department of Health news release)



米国ワシントン保健局は、生ガキを食べた数名が発症し、検査の結果腸炎ビブリオと診断されたため、Hood Canal の 2 カ所のカキ養殖地区を閉鎖しました。

Hood Canal 第 6 地区のカキによる患者は発生していませんが、カキから腸炎ビブリオ *Vibrio parahaemolyticus* が検出されました。また、Hood Canal 第 5 地区で収穫された生ガキを食べた人のうち少なくとも 4 名が、ビブリオ食中毒を発症しました。

ワシントン州では、今年の夏その他の地域でもカキによる腸炎ビブリオ患者が発生しています。同州では毎年約 50 名の患者が報告されます。